

令和2年5月11日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 5月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

..... 終息・一つの願い

校長 村上 雅基

さわやかな風が心地よく吹き抜ける季節となりました。本来であれば、この一ヶ月の学校での状況やエピソードをお伝えするところですが、横浜市として新型コロナウイルス感染拡大による一斉臨時休校が継続し、5月31日までの延長が決まりましたので、その件についてお知らせします。まず、詳細については、一斉メール配信と本校ホームページに、「5月11日以降の一斉臨時休校について」「緊急受け入れの実施について」「休校延長に伴う5月分追加課題の配付と4月分課題の提出について」を掲載しました。内容量が多いのですが、ぜひお読みください。また、5月11日から13日までの3日間、この「東希小だより」とともに、「家庭での学習追加課題」「学習計画表」が配付されています。長期にわたる休業となりますので、お子様と週ごとにしっかりと計画を立てて学習を進めて下さい。ご協力をお願いいたします。その他に、「健康観察表」「PTA書面総会について」「新型コロナウイルス相談ダイヤル緊急開設の案内」また、国から配付された「学校児童用布マスク1枚」その他学年毎の資料等を配付しました。ご確認ください。



さて、新型コロナウイルスの感染が続く中、江戸時代から伝わる「あるモノ」に注目が集まっています。当時と変わらない人々の思いにより、さまざまな形となって、今によみがえった、鳥のようなくちばしに、魚のようなうろこ模様。それは、妖怪「アマビエ」です。江戸時代後期の肥後国（現・熊本県）に現れたといい、遠く江戸にまで伝えられました。江戸時代から伝わり、疫病退散の御利益があるとされる「アマビエ」。

アマビエは、「疫病がはやったときには、わたしの絵を描いて、それをみんなに見せれば収まる。」と伝えていたとのこと。厚生労働省が作成した新型コロナウイルス感染症拡大阻止を呼び掛けるポスターにもアマビエをモチーフにしたキャラクターが使用されています。

また、ある菓子店ではアマビエ飴が発売され25万個以上販売されたとのこと。また、私の住んでいる近所の和菓子屋さんでも「アマビエ」菓子が販売されています。

新型コロナウイルスの感染が広がる今、多くの方が、このアマビエの絵や工芸品、またお菓子などを作り、終息を願っているところです。アマビエの力が発揮されるといいですね。

家庭での学習が続きますが、感染防止に励み、計画的な学習を継続していただきたく、今後とも保護者の皆様のご協力をお願いいたします。